

大学教育におけるICTの効果的な活用 ～eラーニングを活用した学修支援を踏まえて

重田勝介

北海道大学 情報基盤センター
高等教育推進機構オープンエデュケーションセンター

あらまし

- 高等教育機関等におけるICT利活用の現状
 - 大学ICT推進協議会(AXIES)H28年度調査から
- eラーニングを活用した学修支援の可能性
 - オープン・オンライン・コンピテンシーベースドの教育

調査の目的

- 高等教育機関におけるICT利活用の重要性
 - 大学教育の質向上やスケーラビリティの確保
 - 多様な学び手に対する学習機会の提供手段
- ICT利活用の実態把握が不可欠
 - エビデンスに基づいた利活用の未来像提示
- 国内外におけるICT活用教育の調査を実施
 - 過去の類似調査による蓄積と成果を引き継ぐ

「高等教育機関等におけるICT活用教育の推進に関する調査研究」

- 高等教育機関等におけるICTの利活用状況について調査
 - 組織戦略
 - オープンエデュケーション
 - ICT活用教育実施状況
 - ICT活用教育の利点・欠点
 - 学内の支援体制
- 本夏をめどに報告書を公開予定

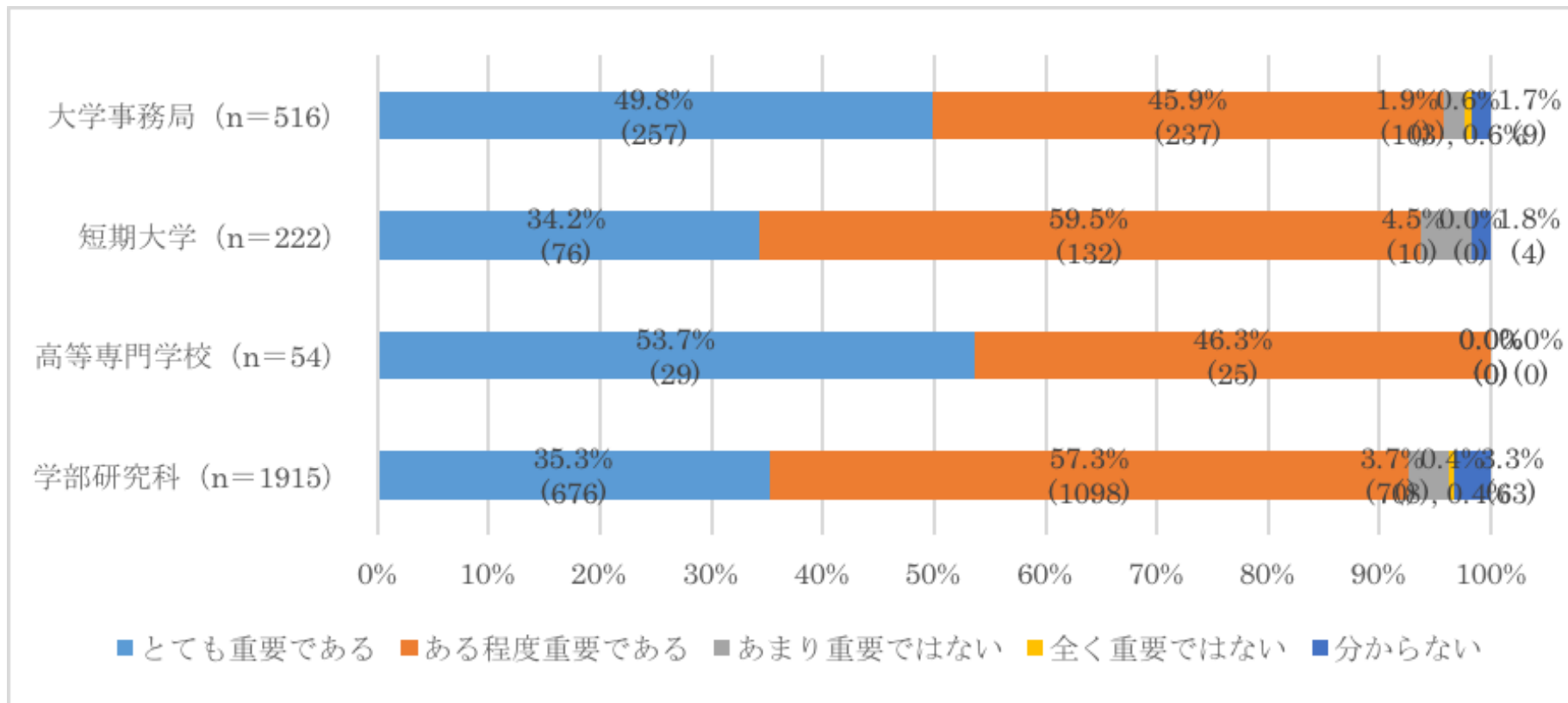
回答状況

	回答数	機関数	割合
大学	516	798	64.7%
短期大学	222	360	61.7%
高等専門学校	54	57	94.7%
計	792	1215	65.2%

- 依頼書類に文部科学省高等教育局専門教育課からの依頼文を同封
- コールセンター業務を外注し各校へ回答を促す電話連絡を実施

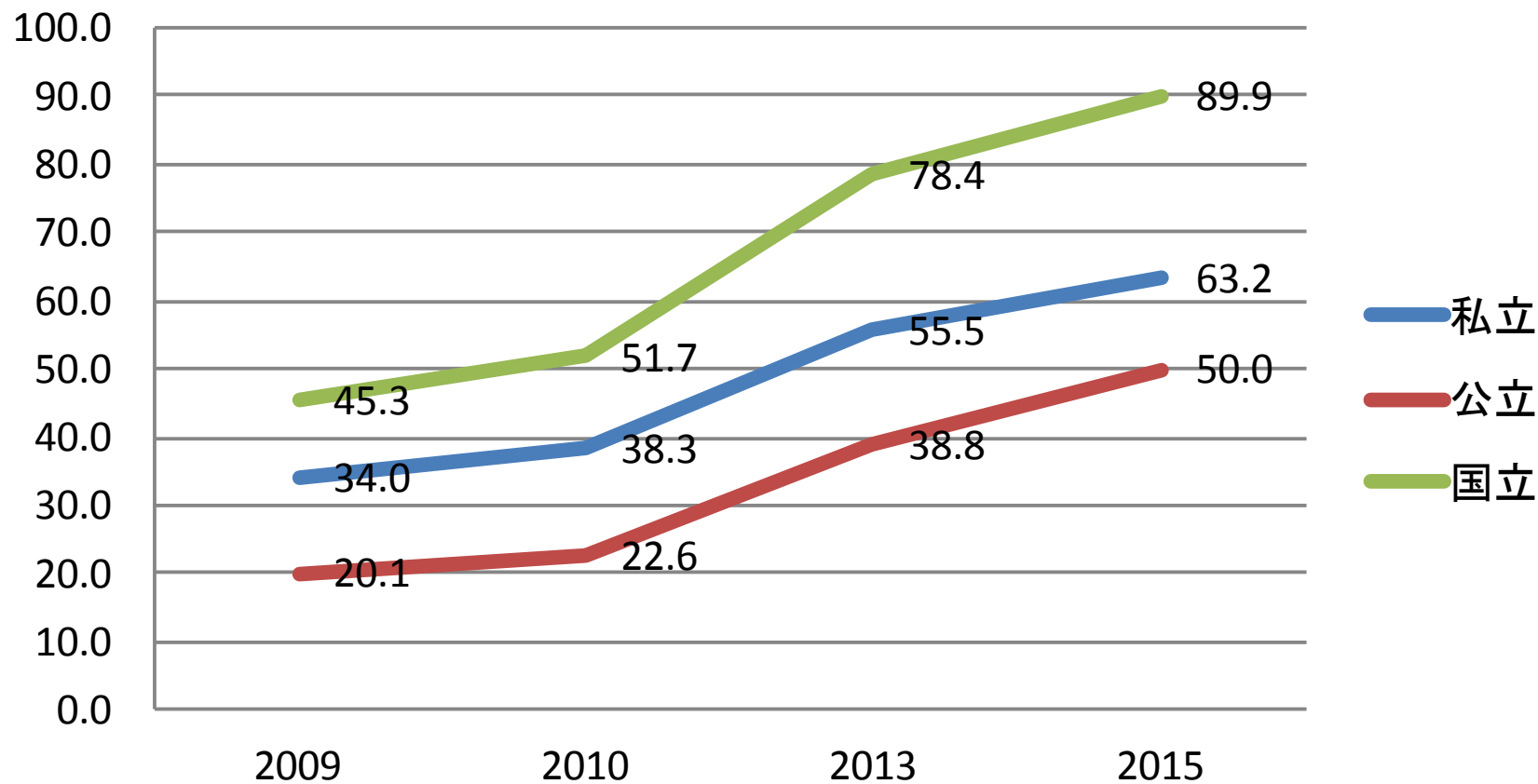
ICT活用教育 重要性の認識

9割以上の機関が重要性を認識



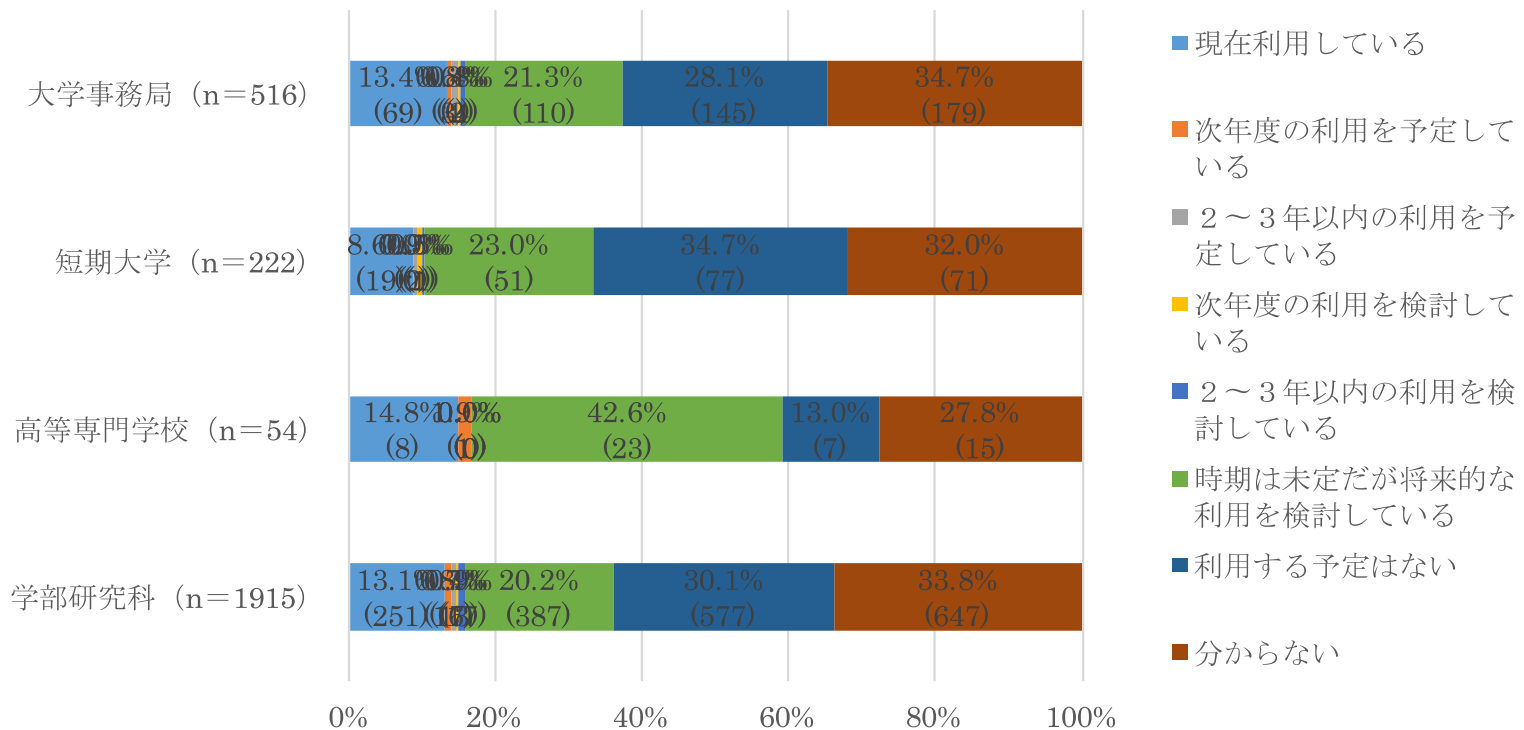
LMS提供状況

国立大学でほぼ9割 おしなべて増加傾向



OERの利用状況

利用は2割弱 多くの高専が利用を検討中



MOOCの提供状況

各機関とも増加傾向

設置区分	H25調査	H26調査 (参考値)	H27調査
大学	92	69	105
国立	23	22	28
公立	4	2	3
私立	64	45	74
短期大学	12	3	23
高等専門学校	9	1	8
合計	113	84(?)	136

全学的なICT環境 導入状況

- ほぼ全ての機関で導入されているもの
 - シラバスの公開
 - 履修登録システム
 - 教職員・学生向けメールシステム
 - ウェブサイト管理システム
- あまり導入されていないもの
 - 講義収録システム
 - eポートフォリオシステム 等

ICT導入の効果と課題

- 効果

- 教員の作業効率化
- 学外にいる学生への学習リソース提供
- アクティブラーニング型授業の増加

- 導入を妨げる要因

- 教職員の理解やモチベーションの不足
- 教職員のICTスキル
- システム運用やコンテンツ開発のノウハウ不足
- 著作権処理のノウハウ不足
- 予算・時間・人員の不足

eラーニングによる学修支援

- 先の調査でICT利活用の目的として挙げられていた項目
 - 学生に対し便利な環境の提供
 - 教職員の作業効率化
 - 教育の質向上・アクティブラーニングでの利用
 - 授業外学習時間の増加
- 少なかったもの
 - 大学の知名度・競争力の向上
 - 受験生・留学生の獲得 予算コスト削減

期待される効果

- オンライン教育による対面教育の補完
 - 既習レベルに応じた教材・学習機会・サポート
 - 発展的学習
- オープン性の導入による多様性の確保
 - OER(オープン教材)導入による教材の多様化とコスト削減
 - 反転授業などブレンド型学習の導入
- コンピテンシーベースドの教育の支援
 - ルーブリックの導入と活用支援
 - 「小刻みな評価」による形成的評価の導入

課題

- 制度面
 - 15回授業の確保
 - 学部教育における「メディアを利用して行う授業」枠の有効活用
- 予算人員
 - スケールメリットが出るまでにはある程度の初期投資が必要
- 教育方法普及
 - ICTを活用した教育手法の導入支援、事例共有